

## 春季研究集会の開催形態について

春季研究集会（6月25日開催）の開催形態について、新型コロナウイルスの感染拡大の状況などを参考に、実行委員会、プログラム委員会関係者を中心に検討して参りました。その結果、一部の都道府県において再び感染拡大現象もみられることから、以下のように対面、オンラインの併存による開催とすることといたしました。

- ① 今回の開催形態について、「A. 対面出席（各自PCとヘッドセットを持参）」と、「B.オンライン参加」の両方の参加を可能とする形態とする。
- ② このハイフレックス形態では、司会、報告者、討論者、参加者のすべてがA・Bのいずれかの参加形態で参加することを可能とする。また、三密対策として、事前にAの対面希望参加者の人数を把握する必要があるため、このメール通知に簡易回答フォームを添付した。これに回答していただき、事前準備を進めていく。
- ③ 教室のプロジェクター放映・教室での全員に聞こえるような音量での放送は、ハウリングする可能性が高いので行わない。また、①のAグループの中で、PC・ヘッドセット持参していない会員への対応は、設備の制約により原則として行わない。Aの対面出席をご希望の方は、PCとヘッドセットの準備をお願いいたします。
- ④ 各教室にはWi-Fiの利用方法を掲示する（ID、PW等）。学外者利用の際の事前の利用者登録は不要である。
- ⑤ コモンスペース（受付）には体温測定機器と消毒薬を準備する。また、簡易名札を準備する。なお、感染防止のためお茶などは準備しないが、コモンスペースに自販機が設置済みであり、飲料等が必要な参加者はこれを利用いただきたい。
- ⑥ 報告資料は各自のPCにダウンロード可能なので配布しない。また参加費も徴収しない。

以上